

令和元年度社会福祉法人しいの木会事業報告

◆法人事業報告

令和元年度、懸案事項の給水設備については、助成金の申請を行うとともに、市原市の水道事業課、福祉課に問い合わせをした。助成金が出る可能性はゼロではないが、はっきりとした回答は得られなかった。現在使用している井戸については、月に1~2回塩素の確認をし、不備があった時また、異臭が確認された時は、業者に依頼し水質の安定を図った。来年度も引き続き検討をしていく。

大型台風の影響により、シーモックが4日間休業したこと、また、新型コロナウイルス関連で利用者の休みが増えたことなど、利用率の落ち込みが収入減の原因と考えられる。2月3月は販売、納品ができずお菓子の売り上げも下がっている。平均利用人数は昨年と比べ1.3人減っている。

(役員会等の実施状況)

実施日	種別	参加者	決議事項
5月28日	理事会	理事6名/4名 監事2名/2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告および計算書類の承認 令和元年度事業計画および予算の承認 定款変更の承認 日本政策金融公庫借入金に法人資産の担保提供
6月15日	評議員会	評議員7名/6名 理事6名/6名 監事2名/2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告および計算書類の承認 令和元年度事業計画および予算の承認 定款変更の承認 日本政策金融公庫借入金に法人資産の担保提供
6月15日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選任
11月26日	理事会	理事6名/6名 監事2名/2名	<ul style="list-style-type: none"> 第1回補正予算の承認 職員就業規則改定の承認、給与規程改定の報告 渡邊氏の理事候補の選任 喜多氏の評議員候補の推薦 定款変更
12月3日	評議員会	評議員7名/5名 理事2名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 第1回補正予算の承認 職員就業規則改定の承認、給与規程改定の報告 渡邊氏を理事に選任 喜多氏を評議員に推薦 定款変更
12月20日	評議員 選任・解任 委員会	評議員選任・解任委員 3名/3名 理事2名	<ul style="list-style-type: none"> 喜多氏の評議員選任

3月24日	理事会	理事6名/6名 監事2名/1名	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回補正予算の承認 ・令和2年度当初予算の承認 ・令和元年度事業計画および令和2年度事業計画の承認 ・定款の改定 ・経理規程および経理規程細則の改定 ・室屋監事辞任に伴う後任理事の選定 ・役員、評議員、選任・解任委員報酬規程
3月28日	評議員会	評議員8名/8名 監事1名 理事3名	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回補正予算の承認 ・定款の改定 ・室屋監事辞任に伴う後任理事の選定 ・役員、評議員、選任・解任委員報酬規程

◆シーモック事業報告

令和元年度は、大型台風や新型コロナウイルスの影響を受け、4日間の休業、販売の中止、納品できない時期が続いた。利用者の人数は増えたものの、平均実利用人数は昨年に比べ**1.3人減**となっている。作業種についても新たなものは見つからず、来年度に引き継ぐ形となった。生活介護の平均実利用人数は、0.3名増となった。

◆各部署の報告

① 就労継続支援B型（定員40名・利用者49名）

就労継続支援B型の平均実利用は、 ※（ ）は昨年の数
1日当たり シーモック **31.8名** (34.2名) プチ・シーモック **5.5名** (4.7名)
計 **37.3名** (38.9名)

《シーモック》

ア) 調理室（利用者12名）

今年度は特別支援学校からの実習生はいなかったが、年度途中で2名の体験を行い利用につながった。台風の影響（停電）で、菓子の材料を処分しなくてはならない状況になったが、皆様のご協力のもと、繁忙期を乗り越えることができた。

イ) 袋室（利用者17名）

4月と11月に各1名、計2名利用者が増えた。今まで取り組んでいなかった作業にも取り組むなど、利用者個々のスキルアップにつながっている。食品表示法施行に伴い、成分表示を追加したシールへの変更を行っている。

ウ) 2グループ（利用者14名）

受注作業が増え、クッキー詰めと受注作業が主な作業となった。受注内容は様々で、利用者に合わせて受けている。誰もが携われるように作業を分割し提供している。対応できる作業も少しずつ増えてきている。

ここ何年か行っていた、いちじくの乾燥作業は調理室で行った。1月より新利用者2名（調理室所属）が午後2グループで作業を行っている。

《プチ・シーモック》 （利用者6名）

シーモックの利用者 1 名の実習を行い利用となった。宣伝用の黒板を置くなど知名度アップを図ったが、あまり効果は見られなかった。パンの販売先を増加したことで、前年度より売り上げを増やすことができた。利用者の作業として、生地の仕事やパンの袋詰め等を行い、作業が活気あるものになるよう努めた。

② 生活介護（定員 7 名・利用者 9 名）

生活介護の年間の平均実利用は、1 日当たり 7.2 名 (6.9 名)

男性 5 名、女性 3 名の計 8 名の利用者でスタートした。6 月から男性 1 名の利用が開始し計 9 名となった。

活動内容はリサイクル作業（ペットボトル・シュレッダー）を中心に、創作活動、近隣の公園散策、買い物等を行った。また、健康維持のため、散歩、体操、踏み台昇降を行った。利用者のペースに合った個別の活動を提供した。月 1 回のお楽しみ会は、主に調理とレクリエーションを行い利用者の楽しみ、励みとなった。

日帰り旅行は小湊鉄道のトロッコ列車を楽しんだ。

③ 相談支援

サービスの更新や新たなサービスを希望された時、アセスメント・モニタリングを行い、サービス等利用計画書の作成を行った。

令和元年度は計画書の作成数は延べ 60 件、モニタリング実施数は延べ 107 件だった。

（現在相談支援を受けている人数）

- ・シーモック利用者 45 名（うち令和元年度新規利用者 2 名）
- ・法人外からの依頼 16 名

④ 日中一時支援

余暇活動の年間の平均実利用は、1 日当たり 29.9 名 (30.6 名)

利用者の地域生活を就労支援等に限らず幅広く支える意味で、週末の余暇活動（希望者）を行った。年間計画に基づき計 21 回の活動を行った。3 月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、外部での活動を自粛した。もう一方の目的として緊急利用の受け入れも行うとしているが、今年度の実質利用はなかった。

（活動内容）

三和中学校でのよさこい、ボッチャ、映画鑑賞、バーベキュー、公園散策、ランチカラオケ、工作（デコ傘作り）、パン作り体験デザート（いちごパフェ）作り他、室内レク等

⑤ グループホーム

年度当初の利用者は、ホームどんぐり 3 名、ホームたんぽぽ 7 名の計 10 名でスタートした。ホームたんぽぽでは、家族関係の問題について相談があり、本人、家族、関係機関と相談の結果、体験利用を経て正式に利用となった。しかし、希望により 2 か月で家庭引き取りとなっている。一方、ホームどんぐりでは、家庭の事情により 11 月より本利用が始まるが、宿泊は伴わず朝夕のみ利用されている利用者がある。

(本年度の体験利用)

氏名	たんぽぽ	どんぐり	備考
20代女性	体験利用5回		利用となるが 2か月で退所
20代女性	体験回数5回		体験継続中
20代男性		体験回数4回	体験継続中

(月別入居者状況)

月日	たんぽぽ	どんぐり	合計
4月 1日	7名	3名	10名
9月 1日	8名	3名	11名
11月 1日	8名	4名	12名
11月 12日	7名	4名	11名
3月 31日現在	7名	4名	11名